CITIZEN

取扱説明書番号
D239-CGXD
室内用

電波時計 取扱説明書
（デジタル掛置兼用時計）

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造 発売元 リズム株式会社
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

ご使用の際は、巻末の（使用上のご注意）を必ずお読みください

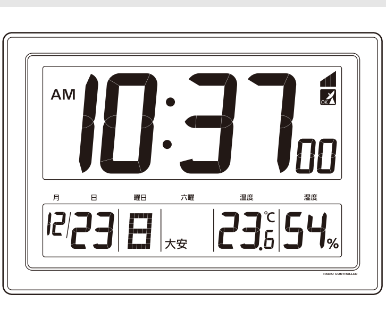
電池は付属しておりません。単2形乾電池を3個ご用意ください。

各部の名称

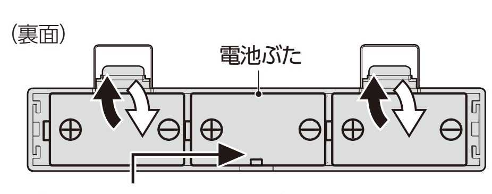
◎図は操作説明用ですので実際のものと異なることがあります。

液晶の特性として、見る角度によって、見えにくくなったり、ムラになったりします。

（表面）



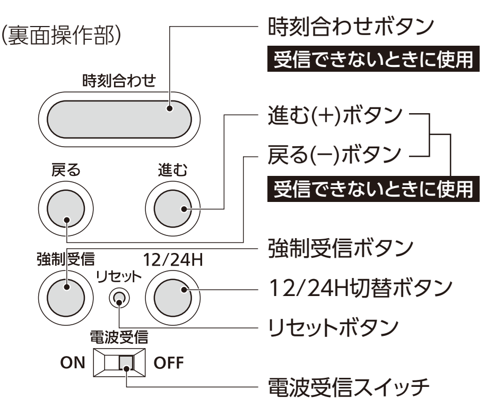
（裏面）



電池は、左側に入れてから右側に移動させる。

⇨取り外す
⬅取り付ける

（裏面操作部）



電池の入れかた

1. 電池ぶたを取り外す
2. 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、単2形乾電池を3個入れる
3. 電池ぶたを取り付ける

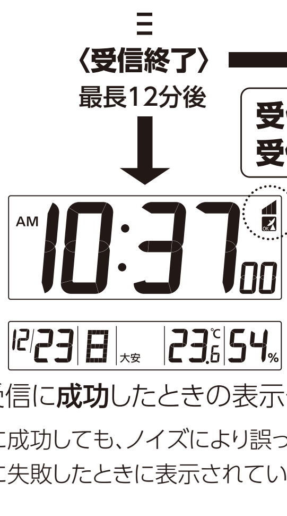
⚠注意 **電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。**

1 電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには（手動での時刻合わせ）をお読みください。

【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2024年1月1日、午前12：00に設定されます。

電波の受信しやすい窓際などでご使用ください。

❶**電波受信スイッチをONにする**
❷**電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる**
❸**リセットボタンを楊枝（ようじ）などで押すと受信マークが点滅し受信を開始します**
❹**12分経過したら受信結果を確認する**
受信に要する時間は、最長で約12分です。受信マークが点灯していたら受信成功です。
☞**【受信の流れと表示】参照**

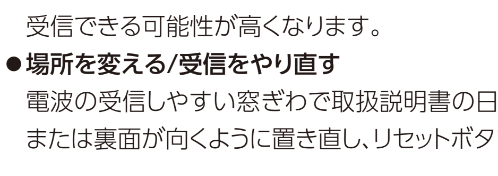
◎受信中はボタンやスイッチにふれないでください。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、受信できなかったり、誤った日時を表示することがあります。場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

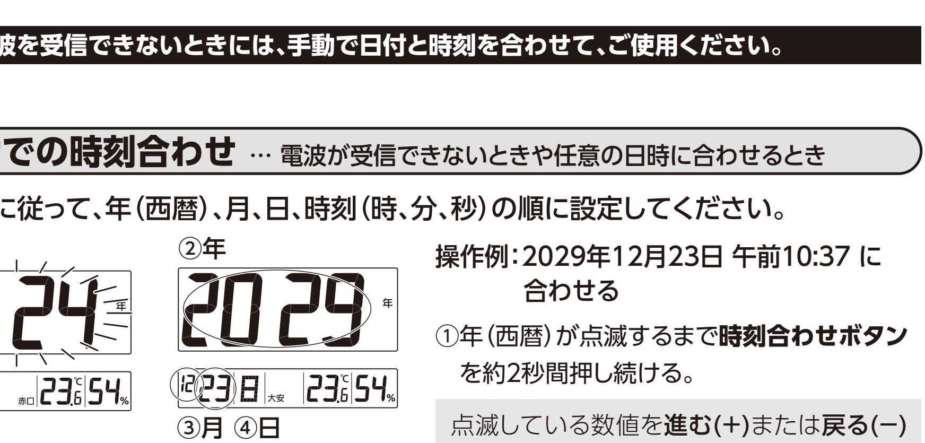
受信マークの変化

電波の状態により変化します。（電波サーチ機能）



チェック！

1〜2分経過しても❶または❷の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えて**リセットボタン**を押し、再度受信を開始させてください。



（受信に**成功**したときの表示例）　（受信に**失敗**したときの表示例）

※受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。
※受信に失敗したときに表示されている日時は正しくありません。

標準電波を受信できない場合

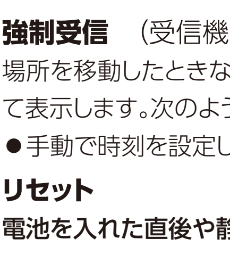
- **朝までそのままにしておく**
  一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- **場所を変える/受信をやり直す**
  電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に本体の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日付と時刻を合わせて、ご使用ください。

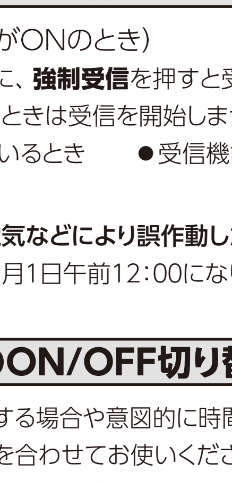
手動での時刻合わせ … 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年（西暦）、月、日、時刻（時、分、秒）の順に設定してください。

①



②年



12時間表示のときはAM(午前)/PM(午後)の表示に注意。
24時間表示のときはAM(午前)/PM(午後)の表示はありません。

- 約15秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
- 標準電波を受信できないときの時間精度は、クオーツ精度になります。
- 電波受信スイッチがONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

操作例：2029年12月23日 午前10:37 に合わせる

①年（西暦）が点滅するまで**時刻合わせボタン**を約2秒間押し続ける。

点滅している数値を**進む(+)**または**戻る(−)**で合わせてから**時刻合わせ**を押すと数値を確定して次に進みます

ボタン	押してすぐ離す	押し続ける
進む(+)	1つ進む	早送り
戻る(−)	1つ戻る	早戻し

②年（西暦）を合わせる
③月を合わせる　④日を合わせる
⑤時を合わせる　⑥分を合わせる
⑦秒を合わせる
※⑦秒を設定中も秒数は停止せずに、秒を刻み続けます。
以上で設定は終わりです。

強制受信とリセット操作について

強制受信　（受信機能がONのとき）
場所を移動したときなどに、**強制受信**を押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。次のようなときは受信を開始しません。

- 手動で時刻を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

リセット
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
リセット直後は、2024年1月1日午前12：00になり、受信機能がONのときは、受信を開始します。

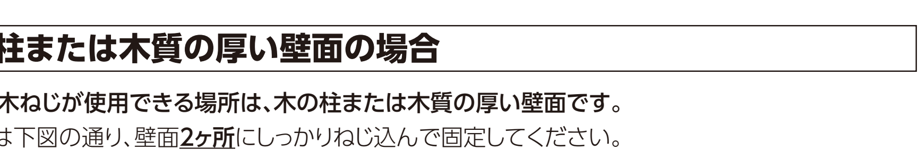
電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、**電波受信スイッチ**をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。
ON：標準電波の受信を行い、受信に成功すると日時を自動修正します。
OFF：標準電波を受信しない。日時の遅れ進みは手動で修正してください。
※ONにしたときには、必ず**強制受信**を押してください。

2 時計の設置

掛ける

本製品は、壁に掛けたときの揺れや傾きを防止するために、壁掛け部を左右2か所設けています。
バランスが崩れますので、中央には掛けないでください。
同梱の**壁掛け用型紙**を使用して、掛け具（木ねじ等）の間隔を正しく位置決めしてください。



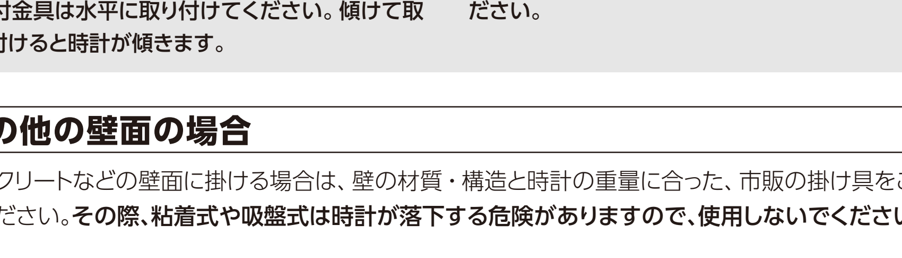
■付属の壁掛け用型紙のご使用方法
(1) 付属の型紙の他に仮留め用のテープ、マーキング用の鉛筆やピンなどをご用意ください。
※仮留め用のテープは、壁の材質に合った壁材が剥がれないマスキングテープなどをご使用ください。
(2) 時計を設置する上辺の高さを決めて、鉛筆やテープなどでマーキングしておきます。
(3) マーキングした位置に付属の型紙の上辺を合わせ、水平になるようにテープなどで仮留めします。
(4) 型紙に開けられた木ねじ、または取付金具のクギ穴位置に合わせて、鉛筆やピンで印をつけます。
※取付金具用のクギ位置は、最初に打ち込む2か所のみ穴が開いています。
(5) 壁に印が付いていることを確認して、型紙を外します。
(6) 印の位置に合わせて木ねじ、または取付金具を取り付けます。

⚠注意 **掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。**

○**耐荷重と安定性を確保するため、中央1ヶ所だけで掛けないでください。**
○**掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具（木ねじ等）がしっかり掛かっていることを確認してください。**
○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。
※掛けるときは、スタンドを収納してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

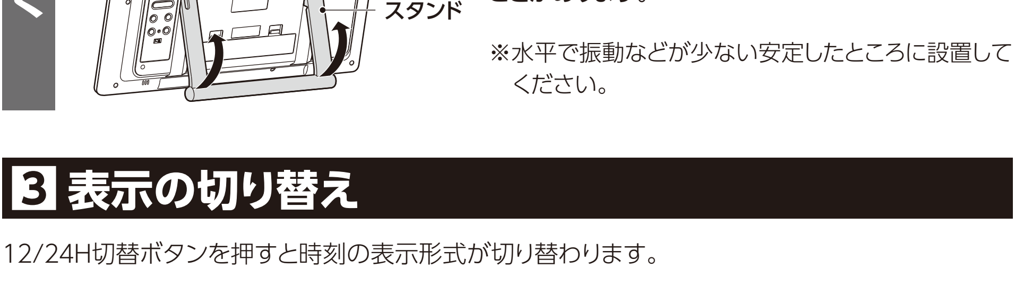
- **付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。**
- 木ねじは下図の通り、壁面**2ヶ所**にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

- **付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。**
- 取付金具は下図の通り、1ヶ所につき付属のクギ4本で、壁面**2ヶ所**にしっかり固定してください。

取り付け方　**取付金具**　金具を水平にして①②の順序でクギを打つ。

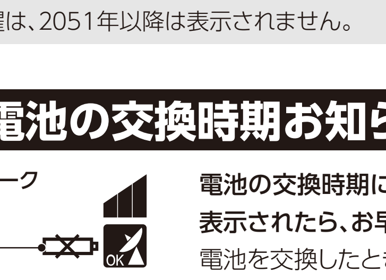


○壁の材質、取り付け方法を確認の上ご使用ください。
○付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。
○取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
○クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
○取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。**その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。**

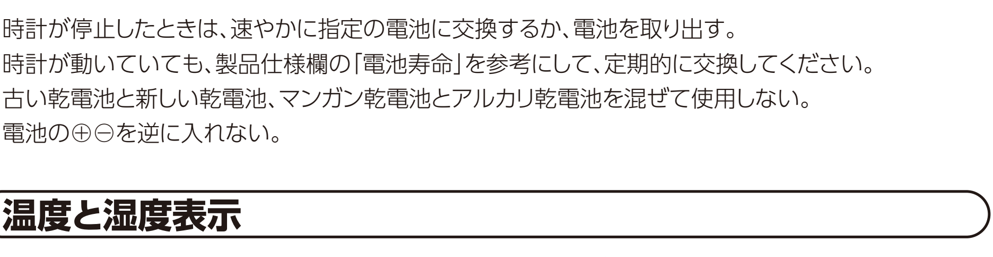
置く



置時計としてご使用になるときには、スタンドを図のようにしてください。
無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。
※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。

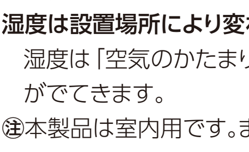
3 表示の切り替え

12/24H切替ボタンを押すと時刻の表示形式が切り替わります。



六曜について
旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。
※六曜は慣習として使われていますが公的な機関が定めたものではありません。
※六曜は、2051年以降は表示されません。

4 電池の交換時期お知らせ機能



電池の交換時期になると、マークが表示されます。このマークが表示されたら、お早めに電池を交換してください。
電池を交換したときは、必ずリセットボタンを押してください。

⚠注意 **電池の交換** **早めに交換して液漏れを防ぎましょう**

電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても、製品仕様欄の「電池寿命」を参考にして、定期的に交換してください。
- 古い乾電池と新しい乾電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

温度と湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味
温度「HH.H」50℃を超える高温　「LL.L」−9.9℃未満の低温
湿度「HH」99%を超える多湿　「LL」20%未満

設置場所について
空気がよく循環する場所に設置してください。直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
屋外、温室、プール、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

湿度は設置場所により変わります
湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでてきます。
㊟本製品は室内用です。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。
㊟測定した温度・湿度を証明または商取引に使用することはできません。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、リセットボタンを押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・製品の廃棄

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度　±1秒 標準電波を受信しない場合　平均月差　±30秒	
使用温度範囲	−10 〜 +50℃（液晶表示可読温度範囲 0〜40℃）	＊結露しないこと
使用電池	単2形マンガン乾電池　JIS規格　R14P　3個　または、 単2形アルカリ乾電池　JIS規格　LR14　3個	
電池寿命	単2形マンガン乾電池　約1年 単2形アルカリ乾電池　約2年	
電池交換時期お知らせ機能	あり　LCDに電池マークを表示	
標準電波	標準電波受信による時刻修正	
受信局	福島局/九州局自動選択	
受信回数	最少 1回/日　最多 3回/日	
受信開始時刻	AM 2:00, 3:00, 4:00に受信開始	※AM 2:00は必ず受信を行う
受信ON/OFF	あり	
表示方式	LCD（液晶）	
時刻表示形式	12時間/24時間制切り替え	
カレンダー	2024〜2099年対応　六曜は2050年まで対応	
温度表示	−9.9 〜 +50℃　温度精度±2℃	※精度は測定温度範囲内
湿度表示	20〜99%RH　湿度精度±10%RH	※%RHは相対湿度を表す
防滴防塵機能	なし	

※液晶表示は5年を超えると表示が薄くなることがあります。
※液晶は低温では表示が薄くなったり、反応が遅くなることがあります。また、高温では表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品　木ねじ　2個、取付金具　2個、クギ　8個、壁掛け用型紙　1枚、保証書　1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明　⃠は、禁止（してはいけないこと）を示しています。
❗は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠警告 **死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容**

❗ **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⃠ **電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、電池について次のことを守る**
- 傷をつけない。
- ショートさせない。
- 加熱しない。
- 分解しない。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。

⃠ **梱包用のポリ袋をかぶらない**
窒息するおそれがあります。

⃠ **電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**
- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

⚠注意 **傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容**

❗ **電池の⊕⊖を正しく入れる**
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

⃠ **強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。

⃠ **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**
さびや故障の原因になります。

⃠ **ぬれた手でさわらない**
さびや故障の原因になります。

⃠ **分解や改造をしない**
けがや故障の原因になります。

⃠ **液晶から漏れた液に素手でさわらない**
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

⃠ **下記のような場所では使わない**
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が−10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意　（電池の正しい使いかた）

電池のご使用上のポイント **正しく使って事故をなくしましょう**

- **プラス(+)、マイナス(−)を間違えない。**
- **長期間使用しないときは電池を取り外す。**
- **電池に表示されている使用推奨期間内に使う。**
- **古い電池と新しい電池を混ぜない。**
- **時計が動いていても定期的に交換する。**
- **時計が止まったらすぐに電池を取り外す。**
- **幼児の手が届かない所に置く。**
- **種類の異なる電池を混ぜない。**

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。（アルカリとマンガンは混ぜないでください。）
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。
  （例：Panasonic EVOLTA（エボルタ）乾電池）　※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。
- 買い置きの電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなることがあります。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(https://jjy.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

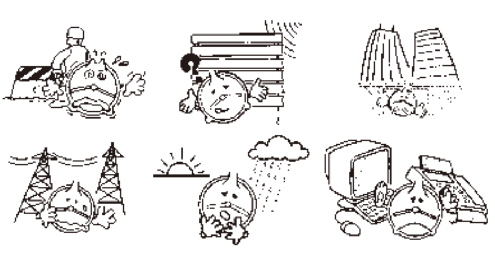
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼/夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

- **修理部品の保有について**
  電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- **修理可能期間について**
  無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先　リズム総合サポート
https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号（型番）をご確認ください。
例. 4MY○○○、4MYA○○、8MY○○○、8MYA○○

お客様相談室：0120-557-005　受付時間 9:00〜17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。